

タウンミーティング あったかいまち「ふじみ野」を目指して

日 時 平成27年5月16日(土) 午前10時～11時30分

場 所 丸山自治会集会所 (丸山自治会)

天 気 雨

参加者 41人



主な意見等

参加者 個人情報保護法の壁があり、丸山地区の居住実態が把握できていません。空き家が多く、コミュニケーションも取れません。災害時の対応にも不安を感じています。

市 長 おっしゃるとおり、個人情報保護法によって地域の実態を把握しづらいということがございますので、市としましては、個人情報保護審査会を通して、万が一の時に備え要援護者等の情報を民生委員、自治会長等に積極的に情報提供できるよう進めていきたいと思えます。

参加者 県道の踏切は車の通行が多く、人や自転車の通行が危険です。東武鉄道へ拡幅を依頼してほしいと思えます。

市 長 要望は出していますが、今までの経緯からも鉄道会社はなかなか資金面での協力はしてくれないのが実情です。結局、県、市が整備費用を出しております。安全対策に向けて努力していきたいと思えます。

参加者 高齢化、病弱の人が多く、避難所までの距離があり、避難所まで行けません。もっと身近な場所に集まれるようにできないか考えてもらいたいです。

市長 おっしゃる通りです。訓練の狙いは、市民皆さんの命や財産を守るために、市役所が指示を出すのではなく、居住している皆さんにどうしたらよいか気づいてもらうことです。実際の災害を想像しながら訓練に参加してもらうことが重要です。防災訓練には、約 5700 人しか参加していません。訓練に出ていくことすらできない人も多いです。災害時に避難所を目指すというのではなく、罹災状況、周囲の火災状況を判断して行動してもらうことが大事だと思います。また、自治組織ができることにも限界があります。どういう人が近所にいるのか把握し、近所同士で支えあうことが大切だと思います。

参加者 子ども対策も必要だが、高齢者対策も重要だと思います。

市長 市民の約 25%が高齢者です。高齢者の安全・安心を確保していくことも重要な課題と考えています。

参加者 県道踏切から丸山集会所までの間が、特に歩道が狭く怖いです。歩行者のための何らかの対策をお願いしたいと思います。駒林地域が区画整理されたので、なおさら感じます。

市長 確かに対策が必要だと思います。どんな対策ができるのか検討をすすめていきたいと思っています。

参加者 ふじみ野駅寄りにアンダーパスができたにもかかわらず、県道であることから大型車が通行します。交通規制という方法もあるのではないのでしょうか。

市長 鉄道の相互乗り入れが進み、自動車の交通量も増えています。その辺も含めて検討していきたいと思っています。

参加者 今年度の固定資産税、都市計画税が 40%くらい上がっているがどうしてか。

市長 新たに住宅を建てた場合に適用となっていた固定資産税の新築家屋軽減の適用期間が経過したためではないでしょうか。税務課で確認し、月曜日に連絡します。

参加者 全国的に空き家の問題がありますが、ふじみ野市ではどのような取り組みを行っていますか。

市長 本市では空き家条例を早期に制定しましたが、力強い罰則規定は設けておりませんので、適正な管理を依頼するしかありません。市内にも空き家は点在しておりまして、更地にすると税金が上がることなどからなかなか協力が得られないケースがあります。議員からも指摘されています。住宅密集地に空き地をつくることは防災上からも有効でありますので、国の動向を見直しながら、行政として手を打てるようなことを考えていきたいと思えます。

参加者 空き家は知らない間に人が住みついたりすることもあるようなので不安です。

市長 所有者以外の者が入り込んでいる場合は、犯罪行為でもありすぐに連絡をいただきたいと思えます。

参加者 民間保育所が 4 園増えるということですが、民間と公営では保護者の負担は違うのでしょうか。

市長 保育内容は若干変わりますが、保護者負担は変わりません。ただし、市で建設した場合は建設費の補助はありませんが、民間が建設する場合は補助対象となります。1 園で約 3 億の建設費用がかかりますが、民間整備の場合は市が 5000 万円の補助金を出せば建てられます。亀居保育所は、土地および建物を借りていました。来年度、耐震強度不足で廃止を予定している鶴ヶ岡保育所、亀久保保育所も同

じです。年間で1000万円近く支払っているのに、長期にわたり賃貸借していると整備できてしまうこととなります。

今回は、耐震強度不足で廃止としましたが、新しい民間保育所に移って良かったという声も多いです。来年度には駅近にも整備されます。定員も400名以上増える予定です。

来年度に廃止予定の保育所では、本年度0歳児を入所は断っており、他の保育所に移ってもらうことを前提に入所してもらっています。

プール事故の経験を踏まえ、500平方メートル未満の保育所は耐震診断する必要がありませんが、子どもを預かる以上、市では安全を維持するために耐震診断を行い、判断しました。

参加者 議員が多すぎるのではないのでしょうか。年間1人約600万円かかっていると思うが。

市長 非常に難しい問題だと思います。議員数も合併時44人から21人に減りました。単純に減らせばいいという問題ではありませんが、政務活動費については、他市に比較してもふじみ野市は少ない方です。1人当たり50万円の市があるのに対し、本市では1人当たり月1万円です。

今回の選挙でも地方の議会において無投票が多かったです。議員の成り手がいないということです。金額の妥当性については議論があるところですが、専業では生計が成り立たないことも原因の一つです。地方議員も名誉職の時代ではなくなってきました。ふじみ野市での選挙結果を見ても若い候補者への期待が見受けられました。報酬額に対し、それに見合う仕事をしたかどうかは、4年後の選挙で審判が下ります。一生懸命やる人をぜひ支えてほしいと思います。

参加者 介護保険料が上がり、年金は下がってきています。

市長 介護保険制度自体が未成熟で、支える世代が減少する中で、支えきれぬのかという問題があります。本市でも基準額について4650円へ値上げをさせてもらいました。富士見市は4900円ほどです。低所得者に考慮し、費用負担の階層を15段階に細分化しました。3年間

の介護給付費を抑えながら、基金を積み 3 年間やっていこうとしています。本市の保険料は、県内でも高い水準ではありませんのでご理解いただきたいと思います。

参加者 水道水の水質の件で連絡をしたところ、水道課の職員が調査してくれ、端末の器具の劣化ということがわかりました。丁寧な対応でとても助かりました。職員への教育、研修はどのように行っているのでしょうか。

市長 おほめの言葉をありがとうございます。担当課に伝えておきます。市では定期的に研修を実施し、県の研修などへも派遣しています。職員の意識改革、企画力の向上を目指しています。
また、市役所ではコンシェルジュ方式を採用しています。市民は市役所に用事があるから来てくれますが、用がなくても来てもらえるよう、ギャラリーの活用など、皆さんが集うような市役所にしたいと思っています。